

平成28年度稲田小中一貫教育グランドデザイン(施設一体型)

第6次福島県総合教育計画
平成28年度アクションプラン

稲田小

小中学校教育目標

稲田中

**豊かな人間性や社会性を
身につけた
たくましい稲田学園生**

須賀川市教育委員会「小中一貫教育」目的

中学校区ごとに、学校が保護者や地域住民と目指す児童生徒像を共有し、その実現のために小・中学校が固く連携しながら、9年間のスパンで編成した教育課程を中心として系統的な教育や課題解決のための連続性のある取組を行うことにより、一人ひとりの児童生徒の個性の伸長と生きぬく力を育成する。

保護者の願い

- 望ましい人間関係を築きながら楽しい学校生活を送って欲しい。
- 善悪の判断力、社会人としてのマナーを身に付けて欲しい。
- 確かな学力を身に付け、進路実現を果たして欲しい。
- 心身ともに健康でたくましく成長して欲しい。

社会で求められている力

- 【グローバル化、高度情報化】
 - 「国際対話力」
 - ・語学力(英語力)
 - ・情報技術力
 - ・表現力(論理性、論旨の明快さ)
- 【環境問題対応と多文化共生】
 - 「共生の精神」
 - ・日本人としてのアイデンティティ
 - ・他国文化の理解
 - ・異なるものへの尊敬
- 【価値観の多様化】
 - 社会生活をする上での基礎基本
- 【社会の階層化】
 - 自らの生き方を追究する態度

小中一貫教育 テーマ(仮)

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成
(～ キャリア教育を核として ～)

【趣旨】

児童生徒一人ひとりに、将来の夢や希望を持たせ、「学ぶこと」「働くこと」「生きること」を考えさせ、社会的自立を目指すキャリア教育に小中学校が一貫して取り組み、稲田小中の教育目標である人間力の育成を図る。

児童生徒の実態調査

【学習面】

- ・基礎学力が二極化傾向にある。
- ・将来の夢や希望をもてない児童生徒がおり、学習意欲にムラがある。
- ・課題解決には意欲的だが、解決の見通し、粘り強さは不足している。
- ・自己の考えを表現し、他の考えを基に自己の考えを深めつつある。

【生活面】

- ・明るく活発で、助け合って生活している。
- ・場に応じた正しい言葉遣い、あいさつが身に付いてきているが不十分である。
- ・規範意識など、基本的生活習慣の定着が十分でない児童生徒がいる。
- ・自主的な態度は身に付けつつあるが、自ら課題を見つけ、工夫することは十分でない。

平成28年度

プール等の解体
中学校校舎改修
本校舎建設開始

稲田みらい学園学びのイノベーション

(1) 子ども同士が教え合い学び合う協働的な学びの実践(ICTを取り入れたアクティブ・ラーニング)

ア ICT機器を活用した高め合う「学び」を通じた思考力・判断力・表現力の育成

イ 発信型の学習を通して須賀川の未来を担い、国際社会で活躍するためのスキルとグローバルな視点をもって、自らの力で問題を解決しようとする態度の育成

(2) コミュニケーションを育む外国語活動の実践

平成29年度

本校舎建設完成

平成30年度

稲田小中学校開校

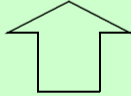
赤~~~~基礎的汎用的能力

豊かな心の育成

- きまりを遵守する態度
- 美しいものに感動する心
- 人間関係形成・社会形成能力

【教育の重点化】

- 共生の精神を醸成する道徳教育の充実
- 学校行事における交流・体験活動の充実
- 感性を磨く読書や文化活動の充実
- コミュニケーション・スキルの育成と異文化交流を推進する外国語指導の充実

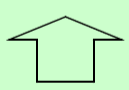


自己の良さを生かす態度の育成

- 自己理解・自己管理能力
- キャリアプランニング能力

【教育の重点化】

- 社会的視点に立った自己理解を促す道徳の時間や特別活動の充実
- 「自己の在り方・生き方」を考えさせる総合的な学習の時間の充実
- 総合的な学習や特別活動での「働くこと」の意義の理解と自らが果たすべき役割の理解の充実
- 児童生徒の主体性を育む特別活動の充実

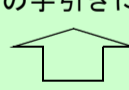


確かな学力の定着

- 「読み」「書き」「計算」の基礎学力
- 課題対応力
- 生涯にわたって学ぶ態度

【教育の重点化】

- 全ての教科の基礎となる国語、算数・数学の基礎学力の充実
- 実験や体験活動などの多様な指導方法による教科指導の充実
- 家庭学習の充実のための支援
- 学習の手引きによる支援

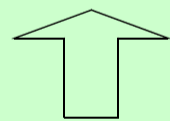


健康・体力の維持向上

- 体力の維持増進に向けた実践力
- 健康診断結果から、健康状態を理解する力
- 食を通じた健康に係る自己管理能力

【教育の重点化】

- 指導方法の工夫改善による体育の授業充実
- 児童生徒主体の体育的行事の充実
- 業間や昼休みの運動を促進する
- 望ましい食習慣の定着



【指導の実際】

【一貫性をもたせる指導】
・異年齢や高齢者等の交流
・自然や社会参加体験

【一貫性をもたせる取組】
◇特別活動(学校行事)
・入学説明会
・福祉、ボランティアの縦割り活動(地域清掃、地域運動会、文化祭参加)
◇道徳の時間(クロスカリキュラム)
・ゲストティチャー
◇松明づくり制作
◇朝の読み聞かせ
◇学校評議員合同実施
◇総合的学習の発表会
◇合同生徒指導委員会
◇子育てチャトルカード

【指導の実際】

【一貫性をもたせる指導】
・自己の良さと改善点を見つめる活動
・児童生徒の企画立案、実践、評価を尊重した教育活動

【一貫性をもたせる取組】
◇総合的な学習の時間
・発達段階に応じた生き方の追究
◇社会参加体験
・職場体験、職場調査
◇小中合同秋華祭
・学級・学年企画発表
・公民館との連携

【指導の実際】

【一貫性をもたせる指導】
・課題解決学習、学び合い活動
・習熟度別学習、T、T指導や乗り入れ授業

【一貫性をもたせる取組】
◇9年間を見通したカリキュラムの作成
◇基礎・基本(国語、算数・数学)の充実
◇英語、国語、体育、音楽の交流の充実
◇特別支援教育の充実
◇英検、数検、算数検定等の奨励
◇家庭学習の充実
学年×15分(1~9年)
◇ノーメディアデーの実施(家族の日)
◇学習の手引き作成
◇学びの習慣づくり(下敷きの配付)

【指導の実際】

【一貫性をもたせる指導】
・スポーツテストや健康診断など自己分析に基づく運動や健康管理の実践

【一貫性をもたせる取組】
◇特別活動(体育的行事)
◇部活動の早期体験、体験入部
◇食育の充実
・給食の時間、学級活動、体育、給食の時間と教科の連携
◇学校保健委員会の実施
◇「自分手帳」の活用
・保健体育、学級活動、家庭科